

努力賞

友達への思いやり

荒川区立峡田小学校 三年

小ざわ さやか

やなぎ田先生こんにちは。

私は夏休み動物園に行って、カピバラやポニーにえさやりの体験をしました。とても楽しくてまたえさやりをしたいと思いました。やなぎ田先生はえさやりをしたことがありますか。一生けん命えさを食べている動物はともかわいくて自分の友達のような気がしました。

私は「バーバパパのはこぶね」という本を読みました。この本はバーバパパたちがいろいろな動物を悪い人間からたすけるお話です。バーバパパの家族が力を合わせてにげてきた動物たちを守っ

てあげたり、具合が悪くなった動物たちをなおしたりします。やがて動物たちは空気が悪くなった、住む場所が無くなってしまった地球からにげ出してしまいます。人間たちは悲しくなり動物の大切さに気づきます。そして地球をきれいにして緑をふやして、動物たちが住めるような世界にもどしました。動物たちが帰ってきてみんな喜びました。私もよかったなと思いました。

私はこの本を読んで、本の中の動物は地球をはなれてちがう星に行ったけれど、実さいそんなことはできません。動物や植物は自分から「おなかですいた。」とか「のどがかわいた。」としやべることはできずに死んでしまうこともあります。私たち人間が気づいてやさしく育てなければいけないと思いました。

私は今は動物を育てていないので、そのかわり
クラス友達にたいして、その気持ちを考えてあ
げられる人になりたいと思いました。そして近く
にこまっている人がいたら「だいじょうぶ。」って
声をかけてあげたいと思います。